



2021年5月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年7月15日
東

上場会社名 室町ケミカル株式会社 上場取引所
 コード番号 4885 URL <https://www.muro-chem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 淳一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 井内 聡 (TEL) 0944-41-2131
 定時株主総会開催予定日 2021年8月27日 配当支払開始予定日 2021年8月30日
 有価証券報告書提出予定日 2021年8月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期の業績 (2020年6月1日～2021年5月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期	4,942	△6.4	369	22.7	339	21.9	180	425.5
2020年5月期	5,280	△2.1	301	125.9	278	157.4	34	△69.3

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益		自己資本 当期純利益率		総資産 経常利益率		売上高 営業利益率	
	円	銭	円	銭	%		%		%	
2021年5月期	65	24	56	97	22.8		7.2		7.5	
2020年5月期	17	16	—	—	16.0		5.9		5.7	

(参考) 持分法投資損益 2021年5月期 ー百万円 2020年5月期 ー百万円

- (注) 1. 当社は、2020年10月15日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2020年5月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。
2. 2020年5月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
3. 当社は、2021年2月26日に東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)市場に上場したため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新規上場日から2021年5月期末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%		円	銭
2021年5月期	4,612	—	1,334	—	28.9		363	93
2020年5月期	4,785	—	252	—	5.3		101	92

(参考) 自己資本 2021年5月期 1,334百万円 2020年5月期 252百万円

- (注) 当社は、2020年10月15日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2020年5月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	円	百万円	円	百万円	円	百万円	円
2021年5月期	488	—	△58	—	△310	—	1,000	—
2020年5月期	—	—	—	—	—	—	—	—

- (注) 当社は2020年5月期において連結キャッシュ・フロー計算書を作成しており、単体のキャッシュ・フロー計算書は作成しておりませんので、2020年5月期のキャッシュ・フローの状況については、記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年5月期	—	0.00	—	3.00	3.00	1	3.5	0.6
2021年5月期	—	0.00	—	15.00	15.00	54	23.0	6.4
2022年5月期(予想)	—	0.00	—	19.00	19.00		20.9	

(注) 当社は、2020年10月15日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2020年5月期については、当該株式分割前の実際の配当金額を記載しております。2021年5月期については、株式分割後の金額を記載しております。株式分割を考慮した場合の2020年5月期期末配当金および年間配当金は0.60円であります。

3. 2022年5月期の業績予想 (2021年6月1日～2022年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,436	△1.9	165	△32.2	154	△29.6	132	74.6	36.04
通期	5,172	4.6	403	9.2	381	12.5	332	84.3	90.84

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(2) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年5月期	4,095,500 株	2020年5月期	3,875,000 株
② 期末自己株式数	2021年5月期	430,000 株	2020年5月期	1,400,000 株
③ 期中平均株式数	2021年5月期	2,769,791 株	2020年5月期	2,003,882 株

(注) 当社は、2020年10月15日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2020年5月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	11
(4) キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(表示方法の変更)	14
(セグメント情報等)	14
(持分法損益等)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、引き続き厳しい状態となりました。1回目の緊急事態宣言の解除後、緩やかに持ち直しの動きがみられつつありましたが、感染の再拡大による緊急事態宣言の再発出や変異株の発生など、依然新型コロナウイルス感染症の収束の見通しは立たず、先行き不透明な状態が続いております。ジェネリック医薬品業界においては、2020年9月までに後発医薬品の使用割合を80%とする政府目標を掲げ、普及が進められてきました。引き続き後発品の使用促進に取り組んでいくとともに、後発品の信頼性向上のため、さらなる管理体制強化、安定供給確保が求められてきております。

このような環境下で、当社においても感染拡大防止に配慮しつつ事業活動を継続してまいりました。新型コロナウイルス感染症の影響で進捗の遅れや受注の減少があった案件もありましたが、一方で影響を受けていないもしくは好調に推移した案件もあり、全体として新型コロナウイルス感染症拡大による売上への影響は軽微でありました。

その結果、当事業年度における経営成績は、売上高4,942,963千円（前年同期比6.4%減）、営業利益369,336千円（前年同期比22.7%増）、経常利益339,322千円（前年同期比21.9%増）、当期純利益180,714千円（前年同期比425.5%増）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

なお、当事業年度より非連結決算に移行したことから、セグメント別の業績について、前事業年度との比較は行っておりません。

① 医薬品事業

採用実績のある原薬の横展開により売上が増加した一方、新型コロナウイルス感染症対策の影響で花粉症等の抗アレルギー薬用原薬の販売が減少したこと、原料変更申請の承認が遅れ販売が後ろ倒しになった原薬があったことなどから、売上高は減少しました。しかし、前事業年度に埼玉工場を閉鎖したこと及び合成工場の減損損失を計上したことにより製造経費が減少したため、売上総利益率は改善し増益となりました。

その結果、医薬品事業における売上高は2,487,426千円となり、営業利益は474,655千円となりました。

② 健康食品事業

前事業年度に販売終了した大口OEMゼリーと撤退した錠剤関連製品の影響が大きく、売上高は大きく減少しました。前述の大口OEMゼリーを除いたゼリー製品については、通信販売を行っている顧客向けの製品を中心に好調に推移しました。売上高は減少しましたが、利益率の低い製品の減少や外注加工費などの製造経費の減少により、売上総利益率は改善し損失が減少しました。

その結果、健康食品事業における売上高は799,637千円となり、営業損失は44,182千円となりました。

③ 化学品事業

新型コロナウイルス感染症の影響による装置納入の延期や保留などもありましたが、イオン交換樹脂の分野においては、既存の医薬品製造向けや半導体関連向けの案件で販売が増加したこと、新規案件獲得が好調であったことなどから、売上高は増加となりました。

その結果、化学品事業における売上高は1,655,899千円となり、営業損失は61,137千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末における総資産は、前事業年度末に比べて173,642千円減少し、4,612,324千円となりました。

① 流動資産

受取手形が141,393千円減少、売掛金が49,521千円減少した一方、現金及び預金が119,423千円増加、仕掛品が47,393千円増加、商品及び製品が44,612千円増加したことなどから、前事業年度末に比べて24,669千円増加し、3,494,514千円となりました。

② 固定資産

建物が107,600千円減少、機械及び装置が95,891千円減少したことなどから、前事業年度末に比べて198,312千円減少し、1,117,810千円となりました。

③ 流動負債

短期借入金が800,000千円減少、1年内返済予定の長期借入金が203,072千円減少したことなどから、前事業年度末に比べて1,064,886千円減少し、2,114,923千円となりました。

④ 固定負債

長期借入金が202,480千円減少したことなどから、前事業年度末に比べて190,504千円減少し、1,163,399千円となりました。

⑤ 純資産

その他資本剰余金が600,629千円増加、繰越利益剰余金が180,362千円増加、自己株式の処分により131,138千円増加したことなどから、前事業年度末に比べて1,081,748千円増加し、1,334,001千円となりました。

その結果、自己資本比率は28.9%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当社は、前連結会計年度においては連結キャッシュ・フロー計算書を作成しており、単体のキャッシュ・フロー計算書は作成していないため、前年同期との比較分析は行っておりません。

当事業年度末における現金及び現金同等物は1,000,373千円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、488,211千円の収入となりました。これは主に、棚卸資産の増加額121,459千円、その他負債の減少額101,679千円などによるキャッシュの減少、売上債権の減少額202,616千円、税引前当期純利益199,616千円、減損損失136,633千円、減価償却費124,322千円などによるキャッシュの増加によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、58,275千円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出55,849千円などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、310,512千円の支出となりました。これは主に、短期借入金の減少による支出800,000千円、長期借入金の返済による支出405,552千円、自己株式の処分による収入731,768千円、株式の発行による収入166,345千円などによるものです。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大が国内外経済に与える影響は不透明な状況であり、ワクチン接種が開始されているものの、この状況は当面続くと想定されます。当社の事業活動においても、今後の感染状況の変化によっては、輸入品の納期遅れや移動制限による新規案件の進捗遅れ、現時点では顕在化していない顧客の需要低下等が懸念されます。このような状況下において、当社では引き続き医薬品、健康食品、化学品の3事業に経営資源を集中し、顧客ニーズを満たす製品の開発、体制の改善による利益率の向上に取り組み、業績改善に努めます。

次期につきましては、医薬品事業においては、引き続き輸入原薬を中心とした既存取扱い原薬の横展開で売上拡大に取り組んでまいります。

健康食品事業においては、終売および撤退製品によって落ち込んだ売上回復のため、ゼリー製品のさらなる拡販に取り組むとともに、今後の生産量増加に対応し効率の良い生産が行えるよう体制強化を図ってまいります。

化学品事業においては、引き続き海外のイオン交換樹脂メーカーとの共同開発を中心に商品力を強化し、顧客ニーズに応える提案により売上拡大に努めてまいります。

以上の取り組みにより、当社の翌事業年度における業績見通しは、売上高5,172百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益403百万円（前年同期比9.2%増）、経常利益381百万円（前年同期比12.5%増）、当期純利益332百万円（前年同期比84.3%増）を予想しております。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年5月31日)	当事業年度 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	880,950	1,000,373
受取手形	305,386	163,992
電子記録債権	619,113	607,412
売掛金	878,831	829,310
商品及び製品	411,768	456,381
仕掛品	22,949	70,343
原材料及び貯蔵品	300,594	330,048
前渡金	31,253	7,466
前払費用	9,909	16,708
その他	9,086	12,478
流動資産合計	3,469,844	3,494,514
固定資産		
有形固定資産		
建物	879,912	801,258
減価償却累計額	△413,016	△441,963
建物(純額)	466,896	359,295
構築物	168,138	170,578
減価償却累計額	△133,880	△139,022
構築物(純額)	34,258	31,556
機械及び装置	1,284,698	1,240,012
減価償却累計額	△1,039,804	△1,091,010
機械及び装置(純額)	244,894	149,002
車両運搬具	17,517	14,793
減価償却累計額	△16,914	△14,046
車両運搬具(純額)	602	747
工具、器具及び備品	280,131	271,565
減価償却累計額	△243,686	△248,833
工具、器具及び備品(純額)	36,445	22,732
一括償却資産	1,661	1,653
土地	260,431	260,431
リース資産	7,530	7,530
減価償却累計額	△2,545	△4,051
リース資産(純額)	4,985	3,479
建設仮勘定	12,718	5,220
有形固定資産合計	1,062,892	834,118
無形固定資産		
ソフトウェア	16,754	12,707
無形固定資産合計	16,754	12,707

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年5月31日)	当事業年度 (2021年5月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	46,743	48,829
出資金	30	30
長期貸付金	547	—
長期前払費用	813	7,148
繰延税金資産	140,317	161,646
その他	48,022	53,329
投資その他の資産合計	236,474	270,984
固定資産合計	1,316,122	1,117,810
資産合計	4,785,967	4,612,324

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年5月31日)	当事業年度 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	40,624	35,746
電子記録債務	161,328	160,600
買掛金	356,259	370,584
短期借入金	1,650,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	405,552	202,480
リース債務	1,656	1,452
未払金	52,666	45,217
未払費用	138,053	119,091
未払法人税等	1,127	61,452
前受金	15,590	14,604
預り金	49,750	27,606
賞与引当金	193,079	203,458
その他	114,121	22,628
流動負債合計	3,179,810	2,114,923
固定負債		
長期借入金	1,188,040	985,560
リース債務	3,826	2,374
退職給付引当金	15,592	15,144
役員退職慰労引当金	118,690	132,565
資産除去債務	26,227	26,227
その他	1,527	1,527
固定負債合計	1,353,903	1,163,399
負債合計	4,533,714	3,278,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	60,000	143,172
資本剰余金		
資本準備金	—	83,172
その他資本剰余金	—	600,629
資本剰余金合計	—	683,802
利益剰余金		
利益準備金	7,656	7,804
その他利益剰余金		
別途積立金	350,000	350,000
固定資産圧縮積立金	3,679	2,397
繰越利益剰余金	10,183	190,545
利益剰余金合計	371,518	550,748
自己株式	△189,271	△58,133
株主資本合計	242,247	1,319,589
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,006	14,411
評価・換算差額等合計	10,006	14,411
純資産合計	252,253	1,334,001
負債純資産合計	4,785,967	4,612,324

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当事業年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
売上高		
製品売上高	3,578,326	3,257,499
商品売上高	1,701,980	1,685,464
売上高合計	5,280,306	4,942,963
売上原価		
製品売上原価		
製品期首たな卸高	200,986	292,560
当期製品製造原価	2,490,928	1,940,422
合計	2,691,914	2,232,982
製品期末たな卸高	292,560	245,864
製品売上原価	2,399,354	1,987,117
商品売上原価		
商品期首たな卸高	53,263	119,208
当期商品仕入高	1,362,005	1,395,585
合計	1,415,268	1,514,793
商品期末たな卸高	119,208	210,516
商品売上原価	1,296,060	1,304,277
売上原価合計	3,695,414	3,291,395
売上総利益	1,584,891	1,651,568
返品調整引当金戻入額	2,124	—
差引売上総利益	1,587,016	1,651,568
販売費及び一般管理費		
役員報酬	114,490	131,850
給料及び手当	429,018	411,364
法定福利費	100,508	98,321
賞与引当金繰入額	102,313	107,736
退職給付費用	13,895	10,855
役員退職慰労引当金繰入額	13,050	13,875
減価償却費	30,541	26,492
研究開発費	25,624	32,020
その他	456,457	449,716
販売費及び一般管理費合計	1,285,898	1,282,231
営業利益	301,118	369,336
営業外収益		
受取利息	18	2
受取配当金	1,300	1,353
補助金収入	23,750	3,663
保険金収入	1,564	2,835
為替差益	2,632	—
その他	4,605	1,344
営業外収益合計	33,871	9,199
営業外費用		
支払利息	30,666	27,677
手形売却損	937	—
為替差損	—	6,897
支払手数料	19,800	1,000
その他	5,300	3,638
営業外費用合計	56,704	39,213

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当事業年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
経常利益	278,285	339,322
特別利益		
固定資産売却益	36,532	89
保険解約返戻金	64,293	—
特別利益合計	100,826	89
特別損失		
固定資産売却損	—	209
固定資産除却損	65,403	1,190
投資有価証券売却損	—	1,762
関係会社清算損	3,613	—
減損損失	296,634	136,633
特別損失合計	365,651	139,794
税引前当期純利益	13,461	199,616
法人税、住民税及び事業税	1,127	42,160
法人税等調整額	△22,058	△23,258
法人税等合計	△20,930	18,902
当期純利益	34,391	180,714

製造原価明細書

【製造原価明細書】

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)		当事業年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 材料費	※1	1,247,191	51.1	1,009,795	50.8
II 労務費		673,728	27.6	597,667	30.1
III 経費		519,017	21.3	380,352	19.1
当期総製造費用		2,439,937	100.0	1,987,816	100.0
仕掛品期首たな卸高		73,940		22,949	
合計		2,513,877		2,010,765	
仕掛品期末たな卸高		22,949		70,343	
当期製品製造原価		2,490,928		1,940,422	

(注) ※1 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
外注加工費	72,489	53,491
減価償却費	187,584	97,660
修繕費	49,189	17,593
消耗品費	40,687	38,906

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、総合原価計算による実際原価計算であります。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		利益準備金	その他利益剰余金	
					別途積立金	固定資産圧縮積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	60,000	—	—	—	7,536	350,000	3,883	156,277
当期変動額								
利益準備金の積立					120			△120
剰余金の配当								△1,200
固定資産圧縮積立金の取崩							△204	204
当期純利益								34,391
自己株式の処分			△20,517	△20,517				
自己株式の消却			△158,852	△158,852				
自己株式処分差損の振替			20,517	20,517				△20,517
利益剰余金から資本剰余金への振替			158,852	158,852				△158,852
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	120	—	△204	△146,093
当期末残高	60,000	—	—	—	7,656	350,000	3,679	10,183

	株主資本			評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
	利益剰余金 合計					
当期首残高	517,697	△412,341	165,355	13,285	13,285	178,641
当期変動額						
利益準備金の積立			—			—
剰余金の配当	△1,200		△1,200			△1,200
固定資産圧縮積立金の取崩			—			—
当期純利益	34,391		34,391			34,391
自己株式の処分		64,217	43,700			43,700
自己株式の消却		158,852	—			—
自己株式処分差損の振替	△20,517		—			—
利益剰余金から資本剰余金への振替	△158,852		—			—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				△3,279	△3,279	△3,279
当期変動額合計	△146,178	223,070	76,891	△3,279	△3,279	73,612
当期末残高	371,518	△189,271	242,247	10,006	10,006	252,253

当事業年度(自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		
					別途積立金	固定資産圧縮積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	60,000	—	—	—	7,656	350,000	3,679	10,183
当期変動額								
新株の発行	83,172	83,172		83,172				
利益準備金の積立					148			△148
剰余金の配当								△1,485
固定資産圧縮積立金の取崩							△1,281	1,281
当期純利益								180,714
自己株式の処分			600,629	600,629				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	83,172	83,172	600,629	683,802	148	—	△1,281	180,362
当期末残高	143,172	83,172	600,629	683,802	7,804	350,000	2,397	190,545

	株主資本			評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
	利益剰余金合計					
当期首残高	371,518	△189,271	242,247	10,006	10,006	252,253
当期変動額						
新株の発行			166,345			166,345
利益準備金の積立			—			—
剰余金の配当	△1,485		△1,485			△1,485
固定資産圧縮積立金の取崩			—			—
当期純利益	180,714		180,714			180,714
自己株式の処分		131,138	731,768			731,768
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				4,405	4,405	4,405
当期変動額合計	179,229	131,138	1,077,342	4,405	4,405	1,081,748
当期末残高	550,748	△58,133	1,319,589	14,411	14,411	1,334,001

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当事業年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前当期純利益	199,616
減価償却費	124,322
減損損失	136,633
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,379
その他の引当金の増減額 (△は減少)	13,875
受取利息及び受取配当金	△1,356
支払利息	27,677
固定資産除却損	1,190
固定資産売却損益 (△は益)	120
売上債権の増減額 (△は増加)	202,616
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△121,459
仕入債務の増減額 (△は減少)	9,516
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△447
その他の資産の増減額 (△は増加)	13,761
その他の負債の増減額 (△は減少)	△101,679
小計	514,765
利息及び配当金の受取額	1,357
利息の支払額	△26,982
法人税等の支払額	△1,127
法人税等の還付額	198
営業活動によるキャッシュ・フロー	488,211
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△55,849
有形固定資産の売却による収入	95
投資有価証券の取得による支出	△2,012
投資有価証券の売却による収入	4,500
貸付金の回収による収入	547
無形固定資産の取得による支出	△6,190
敷金及び保証金の差入による支出	△5,339
敷金及び保証金の回収による収入	5,972
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58,275
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△800,000
長期借入金の返済による支出	△405,552
リース債務の返済による支出	△1,588
株式の発行による収入	166,345
配当金の支払額	△1,485
自己株式の処分による収入	731,768
財務活動によるキャッシュ・フロー	△310,512
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	119,423
現金及び現金同等物の期首残高	880,950
現金及び現金同等物の期末残高	1,000,373

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

前事業年度において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「保険金収入」は、営業外収益の総額の100分の10を超えたため、当事業年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた6,170千円は、「保険金収入」1,564千円、「その他」4,605千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

前事業年度は連結財務諸表を作成していたため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	財務諸表 計上額 (注)2
	医薬品事業	健康食品事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,487,426	799,637	1,655,899	4,942,963	—	4,942,963
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,487,426	799,637	1,655,899	4,942,963	—	4,942,963
セグメント利益又は損失 (△)	474,655	△44,182	△61,137	369,336	—	369,336
セグメント資産	1,732,990	375,981	1,195,342	3,304,314	1,295,217	4,599,531
その他の項目						
減価償却費	35,405	21,810	67,106	124,322	—	124,322
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	16,319	4,322	14,621	35,263	—	35,263

(注) 1. セグメント資産の調整額1,295,217千円は各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に余資運用資金(現金及び預金)、繰延税金資産等であります。

2. セグメント利益は、損益計算書の営業利益と一致しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当事業年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
1株当たり純資産額	101.92円	363.93円
1株当たり当期純利益	17.16円	65.24円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	56.97円

- (注) 1. 当事業年度における潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社は2021年2月26日に東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) に上場したため、上場日から当事業年度末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。前事業年度における潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので、記載しておりません。
2. 当社は2020年10月15日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当事業年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	34,391	180,714
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る当期純利益(千円)	34,391	180,714
普通株式の期中平均株式数(株)	2,003,882	2,769,791
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
(算定上の基礎)		
当期純利益調整額(千円)	－	－
普通株式増加数(株)	－	402,266
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	2020年5月20日取締役会決議による新株予約権 (新株予約権の数 86,770個)	－

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度末 (2020年5月31日)	当事業年度末 (2021年5月31日)
純資産の部の合計額(千円)	252,253	1,334,001
純資産の部から控除する金額(千円)	－	－
普通株式に係る期末純資産額(千円)	252,253	1,334,001
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	2,475,000	3,665,500

(重要な後発事象)

該当事項はありません。